新発田市　令和７年度　第８回定例記者会見

１　日　時　　令和７年10月31日（金）午前11時～

２　場　所　　ヨリネスしばた501会議室

３　内　容

【市長発表項目】

〇大倉喜八郎の日イベントの開催について

〇「ももクロマンホール」と「観光アンバサダー」で誘客促進

〇シェアオフィス「キネス天王」で開発した「高機能きのこ」お披露目会について

〇新発田農業高校×イオン新発田店「芝農フェスタ第２弾」開催

〇ネーミングライツ・パートナー（提案募集型）の募集開始について

〇第47回少年の主張全国大会　出場決定

【その他】

〇「キラッと新潟米☆地場もん献立」の実施について
〇ふるさと納税返礼品発送用段ボールの作成について
〇「ワイド FM 対応ラジオを作ろう！」参加者募集
〇地域おこし協力隊（多文化共生コーディネーター）が着任します
〇講演会　スライドで語る　山の思い出と魅力
〇令和７年度「女性に対する暴力をなくす運動」に伴うパープル・ライトアップ実施について
〇企画展示「放課後〇〇界隈」
〇相撲甚句 in 蔵春閣
〇しばた創業塾２０２５「蔵春閣」開催について
〇令和７年度新発田市所蔵美術作品展「美術表現の彼方」
〇子どもから大人まで楽しめるイクネスしばたクリスマスフェスタ開催

あいさつ

○新発田市の様々な事業を記事していただき、ありがとうございます。今日の新聞の占いが目に触れました。そこには「愛を広げ喜び求めず」といった一文がありました。愛を広い意味で捉えれば、市民を愛し街を愛するということになります。今日はどのような一日となるか期待を込めて登庁しました。

○国はクールビズといった軽装を 10 月以降も継続していいそうでありますので、当市もそれに準じたいということであります。

○ただ、私はこの軽装にいささか抵抗があります。例えば、自動車の運転で例えると、一般普通免許では運転しやすい服装で運転することが正しいと思いますが、大型 2 種免許は乗客を乗せる運転のプロであります。乗客に不愉快な印象を与えずに運転しなければなりませんので、運転しやすい服装で運転していません。

○動きやすく働きやすい服装ということは理解できますが、そういった目線で見た場合、市職員が軽装といえども独りよがりなファッションとなってしまうこともあり得ますので、市民に不愉快な思いを与えない服装であってほしいと思っています。

それでは、会見項目を説明いたします。
はじめに、大倉喜八郎の日イベントの開催についてです。

○近代日本を支えた当市出身の実業家　大倉喜八郎の生誕を記念し、”大倉喜八郎の日実行委員会”が主催するトークイベントが初めて開催されます。

○メインイベントは、9.11 アメリカ同時多発テロの現場となったニューヨーク・貿易センタービルにおいて、リーガルシューズによって奇跡の生還を果たした知られざる日本人の物語について、リーガルアーカイブス初代館長・藤井財八郎氏を講師にお招きする特別講演です。リーガルは、言わずと知れた、喜八郎が創業した老舗の製靴会社です。時代を越えて喜八郎が紡いだ思いが明らかになるとともに、「命を救った大倉の革靴」の実物展示などを行います。

○このほか、大倉製糸新発田工場の元社員が登壇し、過酷な労働条件で働くことが当たり前の時代に、喜八郎が工員や女工に注いだ愛情や施した教育など、当時の様子をありのままに語ります。さらに、新潟大学名誉教授・冨澤信明氏は、初代内閣総理大臣・伊藤博文をはじめ、喜八郎が交流を深めた歴史上の偉人との出来事やエピソードなどを紹介し、喜八郎の幅広い交友関係について説明します。

○現代に引き継がれた大倉イズムとは何か。激動の時代を生きぬいた偉人たちの生涯とそのスピリットをぜひ、多くの方に会場に足を運んでいただき体感していただきたいと思います。

次に、「ももクロマンホール」と「観光アンバサダー」による誘客促進についてです。

○本年４月の「ももクロ春の一大事」の開催を記念し、ももクロメンバーが訪れたゆかりのスポットである３か所に、それぞれが異なるキャラクター風デザインの「ももクロマンホール」を設置いたしました。

○現在、マンホールカードも登録申請をしているころですが、モノノフの皆さんによる聖地巡礼を促すだけではなく、下水道ファンにもアプローチができるよう取り組んでまいります。

○また、本年７月から月岡温泉を起点に新発田駅と新潟駅を結ぶ直行バスの実証実験を実施し、二次交通の再編による市街地の賑わい創出を図っているところであります。行楽の秋を迎え、月岡温泉と市街地のさらなる回遊促進を目指し、当市の観光アンバサダーが新発田駅でお客様をお出迎えします。

○実施期間は、１１月の１か月間、毎週土曜日、日曜日と祝日において、午前９時５５分に新発田駅に到着するバスの利用者の皆様へ、「ももクロマンホール」の設置場所や市街地観光の見どころをお伝えし、お土産品や飲食でお得に利用できるクーポンの配布を行います。

○市街地の魅力に新たに加わった「ももクロマンホール」を目印にしていただき、蔵春閣や新発田城の見学、お土産品の購入や飲食など、街歩きをしながら、城下町の風情が色濃く残る秋の市街地観光を存分に楽しんでいただきたいと思います。

次に、シェアオフィス「キネス天王」で開発した「高機能きのこ」お披露目会についてです。

○これまで若者が働きたいと思える新たな産業の創生や地域活性化を目的に、令和４年にシェアオフィス「キネス天王」を整備し、産学官連携により研究を進めてまいりました。

○この度、入居企業と長岡技術科学大学で、米どころ新発田ならではの副産物、すなわち、「米ぬか」や「もみがら」、酒造会社の「酒かす」といったバイオマスを有効活用した「高機能きのこ」の開発に成功しましたので、１１月４日（火）にお披露目会を開催いたします。

○お披露目会では、研究活動に参画いただいた菊水酒造株式会社を会場として、開発したきのこの説明や試食会を行います。

○なお、開発に成功したきのこは、令和８年３月にオープンを予定する新たなシェアオフィス「キネス本田（旧本田小学校）」で、栽培の実証実験を開始する予定です。

○また、シェアオフィス「キネス本田」では、きのこ栽培のほか、越後姫の室内通年栽培も予定しており、新たなサービス・ビジネスモデルを生み出す「イノベーションラボ」として多くの企業様の参画をお待ちしておりますので、ぜひ取材に来ていただければと思っております。

次に、芝農（しばのう）フェスタ第２弾の開催についてです。

○先月の定例記者会見でも皆様にお知らせしました、新発田農業高校とイオン新発田店のコラボイベント「芝農フェスタ」について、この度、第２弾が開催されることとなりました。

○１０月に開催された第１弾では、当初想定していた参加者数を上回る来場があったと聞いており、改めて新発田の若者の力とこれからの未来を担う若者に対する市民の皆様の期待の大きさを感じたところであります。

○この熱が冷めやらぬなか、１１月２０日に開催される「芝農フェスタ第２弾」では、多くの方から愛されている新発田農業高校の農産物や加工品を販売するとのことであり、売り切れ必至と聞いております。

○このイベントは、地域の魅力を発信したい新発田農業高校と、一層の地域連携を目指すイオン新発田店、そして、多様な主体が参画したまちづくりを目指す当市のそれぞれにとって、まさに三方よしの取組となっており、このような若者と地域が連携した取組が今後も継続的に展開されることが、当市のまちづくりや地方創生の１つの「答え」になるのではと期待しているところであります。

○報道機関の皆様におかれましても、ぜひイベントにもお越しになり、高校生や参加者の生の声をお聞きいただき、当市が目指す『若者との協働や官民連携によるまちづくり』を取材していただきますようお願いします。

次に、ネーミングライツ・パートナーの募集開始についてです。

○公共施設に対するネーミングライツについて、民間事業者の皆様からの提案を広く募集する「提案募集型」により、ネーミングライツ・パートナーの募集を開始します。

○今年の１０月１日から、新発田駅前複合施設「イクネスしばた多目的室１」の愛称が「AIKOKIKI（アイコウキキ）未来ルーム」となりましたが、今回の取組はこれを更に推し進め、他の公共施設へのネーミングライツ導入を拡大・加速させるものです。

○ネーミングライツ・パートナーの募集方法として、「イクネスしばた」の事例のように、市が対象施設やネーミングライツ料、契約期間等の条件を指定する「特定施設募集型」の方法に対し、今回は対象施設や契約金額などの各種条件を含めて、民間事業者から提案をいただく「提案募集型」の方法を採用いたします。

○対象施設は、庁舎、学校、幼稚園・保育園などの一部施設を除き、原則、全ての市有施設を対象とします。ただし、対象外施設についても、建物全体へのネーミングライツ導入は難しいですが、施設の一部に対する提案は可能としています。

○ネーミングライツ料は施設の維持管理経費に充てる予定です。ネーミングライツの導入により、当市の新たな自主財源を確保し、市有施設の良好な運営とサービスの維持・向上を図るとともに、民間事業者の皆様にとっても広告機会の拡大につながります。

○提案の募集は本日から開始し、常時受付を行います。民間事業者の皆様からの柔軟かつ多彩な提案を募り、ネーミングライツの更なる導入促進を図ってまいります。

最後に、第47回少年の主張全国大会 出場決定についてです。

○１１月１６日（日）に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催される第４７回少年の主張全国大会に、川東中学校３年生の宮村萌々香（ももか）さんが関東・甲信越静ブロックの代表として出場いたします。

○宮村さんは、新発田市大会、三市北蒲原地区大会、そして９月２１日に新発田市民文化会館で開催された新潟県大会で見事最優秀賞を受賞し、関東・甲信越静ブロック審査会に進みました。ブロック審査会で書類審査及び映像審査を受け、ここで上位３名に選ばれ、全国大会に出場します。全国大会の当日は、全国を５ブロックに分けたブロックごとの代表１２名が発表します。

○新発田市で新潟県の代表に選ばれたのは、令和元年以来二人目、さらに全国大会出場は初めてです。また、新潟県から全国大会に出場するのは平成２９年以来８年ぶりとなります。

○当日は、インターネットでのライブ配信が予定されております。宮村さんをはじめとする中学生の熱い思いを感じていただき、応援していただけたらと思います。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市を御支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。